

きらり

2016
DEC 7
NO.

男女共同参画社会の
実現のために…

◆ ジェンダー・ギャップ指数

日本の男女平等度合いを分野別にみると

100点満点に換算 順位は144カ国中 (今回は145カ国)



女性の活躍を阻むものとは…

政治	女性議員は増えず、 女性の首相も出ていない	→
	10.3点	今回 103位
	10.3点	前回 104位
経済	男女の所得格差が推計 方法の変更もあり、悪化	↘
	56.9点	118位
	61.1点	106位
教育	初等・中等教育は100点だが、 高等教育で格差が残る	↗
	99.0点	76位
	98.8点	84位
健康	平均寿命の長さや出生時の 男女比で評価	→
	97.9点	40位
	97.9点	42位
総合		↘
	66.0点	111位
	67.0点	101位

(2016年11月19日 朝日新聞)

平成28年4月に「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」(女性活躍推進法)が施行され、女性の活躍や社会進出を一層進める大きな流れが生じましたが、他の先進国と比べると、日本の男女格差や男女の不平等感、まだまだ解消されていません。特に「男女の所得格差」が前年より後退しており、働く女性の56.3%が非正規雇用、男性のフルタイム労働者の賃金を100とした場合の女性の賃金は72.2となるなど、男女間賃金格差は改善されていません。

このような状況の中で、引き続き、女性の活躍を応援し、男女の格差是正や不平等感を解消するためには、男女がともに多様な働き方が可能となる「働き方改革」の推進や、子育て支援・介護支援といった施策の整備が急がれており、行政や企業にはその対応が求められています。

ジェンダー・ギャップ指数とは？

世界経済フォーラム (World Economic Forum) が、平成28年10月「The Global Gender Gap Report 2016」で、各国における男女格差を測るジェンダー・ギャップ指数 (Gender Gap Index : GGI) を発表しました。この指数は、経済、教育、政治、保健の4つの分野のデータから作成され、男女格差の少なさを指数化し、平均で総合順位を決めています。日本は144か国中111位で、昨年の145か国中101位より大きく後退しました。

あらゆる分野への男女共同参画

長岡京市では、男女共同参画計画第6次計画の基本目標に「あらゆる分野への男女共同参画」を掲げ、「働く場における男女平等の推進」、「地域における男女共同参画の推進」、「様々な困難を抱える人々の支援と環境整備」を主要課題として定めています。

中でも、高齢や障がいのある女性、在住外国人女性やその子ども、ひとり親家庭といった、様々な困難を抱えながら暮らしている人々へのきめ細やかな自立支援や、LGBTをはじめとする様々なマイノリティへの偏見を取り除き、理解を進める環境を整えることで、あらゆる人の人権を尊重し、多様性を受け入れる男女共同参画社会の実現を目指しています。

自分らしく生きるために…

自分らしく生きるためには、自分の中の迷いや戸惑い、矛盾や歪み、弱さをも「自分」とであると認め、あるがままの自分を過不足なく表現し、等身大で生きること。自身を認め、他者を受け入れることが大切です。そして、個人として人権が尊重され、自分らしく生きる権利を「互いに認め合うこと」ができれば、マイノリティとマジョリティの境界を無くすことに、つながるのではないのでしょうか？この柔らかい心の大切さと、等身大の自分で生きる「自由」に気付くことによって、すべての人が「自分らしく」生きることができる男女共同参画社会への「真の一步」となるのです…。

(※マイノリティ…少数者・少数派、マジョリティ…多数者・多数派)

男女共同参画フォーラム 2016

家田 莊子さん 講演会 14:00~16:00

～自分らしく～ あるがままに生きるために

2017
1/21 SAT
バンビオ1番館
3F メインホール



作家として僧侶として、様々な弱い立場の人々に目を向け、寄り添ってこられた家田莊子さんを講師に招き、自身を認め、他者を受け入れる柔らかい心の大切さと、等身大の自分で「あるがまま」に生きていく自由、そして、すべての人が「自分らしく」生きることができる、男女共同参画社会へのメッセージを伝えていただきます。

13:00 開場

13:30~14:00 オープニング・コンサート

男女共同参画フロア “いこ～” 承認団体のムジクリ企画さんによる

ソプラノ・クラリネット・ピアノのアンサンブルコンサート

演奏曲
☆クラリネットポルカ ☆アヴェ ヴェルム コルプス
☆オーミオ バッピーノ ☆いつも何度でも ☆となりのトトロ
☆さんぽ ほか



定員：先着 200 人（予約制）

託児：1 歳～就学前幼児。先着 10 人（要予約）

申込み締切 1 月 14 日（土）

※手話通訳・要約筆記あり。

《家田莊子さん プロフィール》

日本大学芸術学部放送学科卒業。高野山大学大学院修士課程修了。女優、OLなど10以上の職歴を経て作家に。

2007年、高野山大学にて伝法(でんぼう)灌頂(かんじょう)を受け、僧侶に。住職の資格を持つ。高野山の奥の院、または総本山金剛峯寺にて駐在(不定期)し、法話を行っている。

き☆ら☆り って？

すべての人が生き生きと暮らせるように、素敵に「き・ら・り」と輝けるように・・・そんな思いを込めました。みんなが元気になる「き・ら・り」としたヒントを、センターNEWSで発信します！

☆2016年 10～11月 こんな事業を行いました!!

みんなの元気力UP 講座

10/4 「LGBT」再発見!
～多様な性を知って、あるがままの自分を認める～
講師：佐倉 智美さん
(ジェンダー&セクシュアリティライター)



10/18 正しいパンツのたたみ方
～自分を輝かせるスイッチは自分の中にある～
講師：南野 忠晴さん (元大阪府立高校 家庭科教員)



パープル&オレンジリボンプロジェクト 2016

11/12 「今」を生きる子どもたちへ～教育、家庭、社会はどうあるべきか!??～

第1部 講師 渡邊 和彦さん
(京都府警察本部生活安全部サイバー犯罪対策課
ネットセキュリティー・サポートセンター副所長)



第2部 講師 藤木 祥史さん
(京都府府民生活部青少年課 立ち直り支援チーム(ユース・アシスト) 支援コーディネーター)



11/16 暴力を乗り越える
～ともに生きる「家族」の在りかたとは～
講師：中村 正さん (立命館大学応用人間
科学研究科・産業社会学部 教授)



11/19 ガールスカウト京都府第61団ワークショップ
～みんなでつくる差別と暴力のない世界～
「イヤッ!!」って言えるかな?



11/30 京都性暴力被害者ワンストップ
相談支援センター 京都 SARA

～性暴力被害者支援の取り組みについて～
講師：周藤 由美子さん
(ウィメンズカウンセリング京都 フェミニストカ
ウンセラー 京都 SARA スーパーバイザー)



11/1～30 パープル&オレンジリボンの作品展示



多くの皆様にご参加をいただき、ありがとうございました!



「昼、介護職。夜、デリヘル嬢。」

家田 莊子 著
ブックマン社

介護職とデリヘル嬢のダブルワークをする女性たちを、3年にわたって取材。これまで語られてこなかった高齢者の性の問題と、介護職の仕事の過酷さや低賃金の実態をあきらかにし、自らデリヘル嬢になった女性たちの心情を丁寧に聞き取る。超高齢化社会の到来にともない、介護従事者の人手不足は深刻である。表面化されにくい高齢者の性の問題に切り込み、生と性、そして介護のありようにも問題提起する。

「キレル私をやめたい」

田房 永子 著
竹書房

突然キレて、物を投げたり、夫を叩いたり、泣きわめいたりしてしまう…。自分の中の炎に火がつくと、どうしても止められない。理性を取り戻した後は自己嫌悪にさいなまれ、誰にも言えずに苦しむ…。2012年に「母がしんどい」で過干渉の母親との確執を描き反響を呼んだ。母のようになっていく自分に愕然とし苦悩した著者が、「キれない」日々を手に入れるまでの葛藤を描くコミック。

「ルポ貧困女子」

飯島 裕子 著
岩波新書

女性の貧困のあり方は多様である。メディアで取り上げられるようなドラマティックな物語だけが「貧困」ではない。実家暮らしであると、可処分所得が低くても「貧困」とはわかりにくい。一般職・総合職、契約社員、派遣社員といった働き方の選択で、女性たちの中で格差が生まれる。一方、正規雇用者の過労自殺といった問題もある。また、既婚か未婚か、子どもがいるか…なども女性を分断する要素になる。生きづらさを感じる女性たちの現状と解決の糸口を示す。

「ストーカー加害者
私から、逃げてください」

田淵 俊彦・NNNドキュメント取材班 著
河出書房新社

元恋人との関係が壊れてストーカーになる「執着型」、ちょっとした知り合いがストーカーに発展する「求愛型」、面識がない相手に恋愛感情を抱く「一方型」。3人のストーカー加害者への丹念なインタビューを通じ、なぜストーカー加害者が生まれるのか、その心の奥底に迫る。人間関係の希薄さや、面前DV・被虐待などの経験から、ゆがんだ支配欲を持ってしまう「ストーカー予備軍」の若者が増えつつあることにも警鐘を鳴らす。

女性の相談室 予約・問合せ専用電話 075-963-5502

◀一般相談・DV相談▶

月曜日～金曜日 9:00～17:00

★面接相談<予約制>

★電話相談

相談専用電話 075-963-5522

◀女性のカウンセリングルーム▶

<予約制>

第1・第4 水曜日

13:30～16:30

第2・第3 水曜日

9:30～12:30

◀女性の法律相談▶

<予約制>

第4 水曜日

10:00～12:00

(4・8・12月除く)

◇編集・発行◇

長岡京市女性交流支援センター

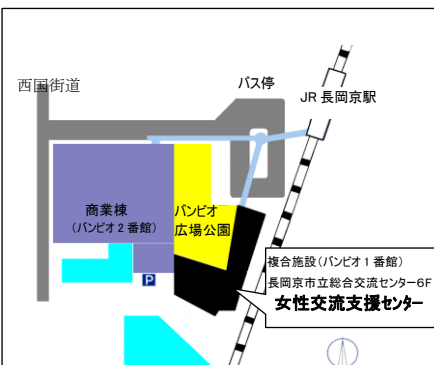
〒617-0833

京都府長岡京市神足2丁目3番1号

長岡京市立総合交流センター6階

TEL 075-963-5501 FAX 075-963-5521

E-mail: josei-c@city.nagaokakyo.kyoto.jp



アクセス
JR京都線長岡京駅西
口から徒歩1分

休日
・祝日及び年末年始

開館時間
午前9時から
午後5時

◇利用のご案内◇